

# 啓翁桜開花 狙った日に

天童市の創学館高(遠藤淳一校長)情報メディアコース3年生が、IoT(モノのインターネット)技術を駆使し、狙った日に啓翁桜を開花させるプロジェクトに挑戦している。地元を生産者や企業の協力を得た課題研究で、3月1日の卒業式で満開の桜を3年生全員に贈る計画だ。

本県が生産量日本一を誇る啓翁桜に着目し、課題研究で学んだ技術を栽培に活用する試み。3年前、同校のモノづくり倶楽部が試験的に始め、本年度から本格化させた。課題研究のメンバーは3年生7人で、JAてんどうの天童花木生産組合長の阿部隆幸さん(48)の加温ハウスを訪れ、啓翁桜の特徴や歴史を学んだ。阿部さんは温度管理にIoT技術をとり入れており、開花に必要な積算温度を独自に導き出した。

生徒たちはこうしたデー

## IoT技術駆使、卒業式に満開へ

夕を踏まえ、校内に設けた加温ハウスでの開花調整に挑んでいる。温度と湿度を感知するセンサーを取り付け、プログラミングを施したマイクログンピューターで1分ごとにデータを取得。スマートフォンなどで24時間リアルタイムに観測できるシステムを構築した。先輩が開発した自動送風装置も設置。室温が20度

## 天童・創学館高生が挑戦

### 地元生産者や企業協力



啓翁桜の開花を調整する課題研究に取り組んでいる天童市・創学館高メンバー

を超えると、自動でサーキユレーターが作動して熱を逃がす仕組みで、積算温度を制御している。阿部さんは「工業系の高校生に啓翁桜について知ってもらえてうれしい」と話す。IoT技術を手がける那須電機(河北町)の那須正紹さん(45)が研究を支援しており「技術者としての視野を広げるきっかけ

(瀬野麻衣)